

このユニットのねらい

日本に住み、仕事をする上で、自分の銀行口座を持つことが必要です。まず、銀行でどんなことができるかを知り、銀行へ行って口座を開くことができるように学習しましょう。

<話題>

- 自分の銀行口座を持っているか？  
どんな銀行を知っているか？
- 口座の開きかた
- 銀行でできること
- 便利な機能について
- 銀行で注意すること
- 日本のお金や銀行と、学習者の国のお金や銀行とのちがい

<ことば>

銀行口座 普通口座 印鑑 本人確認 身分証明 暗証番号 桁  
窓口 番号札 普通預金 用紙 記入 キャッシュカード ATM  
通帳 引き出し 預け入れ 振り込み 生体認証 IC カード 残高  
履歴 ネットバンキング 公共料金 支払い 自動引き落とし  
領収書 外貨両替 現金 トラベラーズチェック 限度額 手数料

## I 銀行口座を開く

### ■ウォーミングアップ



自分の銀行口座を持っていますか？

⇒持っていると言った人には…… **どこの銀行ですか？**

⇒持っていないと言った人には…生活や仕事に銀行口座が必要であることを伝えましょう

近くにどんな銀行があるか知っていますか？

★家や職場、教室の近くにある銀行や郵便局について話しましょう。具体的な名前をあげて、知っているか聞いたり、自分の口座のある銀行の話をするのもいいでしょう。



◇ 普通口座を開くときに必要なものについて話しましょう

1. 印鑑(なくてもいい銀行もあります)
2. 本人確認用 身分証明ができるもの(外国人登録証、健康保険証、免許証、パスポートなど)
3. 最初に預けるお金
4. 暗証番号を4ケタでつくる

※注意すること

こんな番号はやめましょう。

- 誕生日の数字
- 住所の数字(番地や部屋番号)
- 自動車のナンバー
- 同じ数字を使う(7777 など)
- 単純すぎる数字(1234 など)

## 話しましょう

◇ 銀行に行ったときに、どうするか話しましょう



銀行の窓口に行ったら…

① まず番号札をとりましょう。

番号札の機械が複数ある場合もあります。  
そのときは、「口座を開く窓口」の札をとって待ちます。

② 自分の番号が呼ばれたら、番号が表示された窓口に行きます。  
窓口で、何がしたいかを言いましょう。

## 聞いてみましょう

銀行の窓口が開いているのは、何時から何時までか知っていますか？

銀行の窓口が開いているのは、通常、平日の午前 9 時から午後 3 時までです。  
土日・祝祭日は開いていません。年末年始も休みです。  
あなたの国ではどうですか？



## ひら も 開いて持つ？

口座を開く。口座を持つ。開くには「開ける」という意味がありますが、「新しく設ける(つくる)」という意味もあります。「持つ」には「手に持つ」「かばんを持つ」などの意味がありますが、「ある」という意味もあります。

口座を開くことを「つくる」「開設する」「新設する」という場合もあります。銀行の窓口案内には「口座開設」と書かれている場合が多いようです。(まった のりへ)

## 練習しましょう

たとえば、どんな会話をするか、考えて練習してみましょう。

会話(例)

わたし：「普通預金の口座を開きたいのですが」

銀行員：「では、こちらの用紙にご記入ください」

わたし：「すみません。ここの書きかたがわかりません」

銀行員：「そこは書いていただかなくて結構です。今日は印鑑をお持ちですか？」

わたし：「印鑑は持っていません。作らなければいけませんか？」

銀行員：「なければ、サインでも結構ですので、こちらにサインをお願いします」

わたし：「はい」

銀行員：「外国人登録証などの身分証明書と、お預けになる金額をお願いします」

「そちらにおかけになってお待ちください」

いんかん にほん  
印鑑があるのは日本だけ？



にほん せいかつ  
日本で生活するのに、  
いんかん たいせつ  
印鑑はとても大切で、  
なくてはならないものと  
いっていいでしょう。

いんかん きげんぜん ねん  
印鑑は紀元前5000年  
ごろのメソポタミアで  
はつめい  
発明されたといわれて  
います。

では、いつから日本にほんで印鑑いんかんを使うようになったのでしょうか。  
いんかん やよいじだい ちゅうごく つた ならじだい  
印鑑は弥生時代に中国から伝わってきました。奈良時代には、  
こうてきぶんしょ いんかん つか えどじだい きぞく ぶし つか  
公的文書に印鑑が使われ、江戸時代までは、貴族や武士が使って  
いました。今のように多くの人いま おお ひと もが持つようになったのは明治時代めいじじだいからです。

かいがい げんざい かんじぶんかけん いんかんぶんか のこ  
海外はというと、現在でも漢字文化圏では、印鑑文化が残って  
います。ヨーロッパでは、おかしは指輪印ゆびわいんと言われるものなど印鑑  
ぶんか せいきごろ ふきゅう はじ せいき  
文化がありましたが、15世紀頃からサインが普及し始め、19世紀  
いんかんぶんか  
ごろには印鑑文化はほとんどなくなってしまったそうです。

ちなみに、いんかん  
印鑑のことを「ハンコ」とも言いますが、はんこう はん  
こう か ただ はんこ か あ じ さいばん はんけつしょ  
行」と書くのが正しく、「判子」と書くのは当て字で、裁判の判決書  
お はんこ よ い  
に押されたので「判子」と呼ぶようになったといわれています。

いんかん いみ いま おな  
もともとは、印鑑とハンコはちがう意味でしたが、今では同じ  
いみ つか  
意味に使われています。(うりさか みき)



## がいく ひと いんかん もしも外国の人が印鑑をつくったら

にほん かんじ か がいく ひと にんき  
日本の漢字を書いたTシャツが外国の人たちに人気があります。

かんじ おもしろい おも ひと おお とく いんかん ひつよう  
「漢字はおもしろい」と思う人も多いようです。特に印鑑が必要で  
はなくても、印鑑をつくったという外国の人もいます。その場合、  
かんじ つか おお おと おな かんじ かんが  
カタカナを使うことが多いのですが、音が同じ漢字を考えて、  
かんじ いんかん ひと  
漢字で印鑑をつくる人もいます。

たとえば、アブという名前なら、こんな印鑑がつけれますよ。



いっしょ にほんご まな がいくじんがくしゅうしゃ  
あなたと一緒に日本語を学ぶ外国人学習者と「もしも、あな  
なまえ かんじ …… かんが たの  
たの名前を漢字にしたら…」と、考えるのも楽しいかもしれませ  
んね。

<例>

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ・ビル   | → 美流  | ・ライサ  | → 来左  |
| ・ベッカム | → 別歌無 | ・ナタリー | → 菜多里 |
| ・マイケル | → 每家留 | ・シャロン | → 車論  |
| ・ラハマン | → 良葉満 | ・タオ   | → 多尾  |
| ・カルロス | → 軽呂巢 | ・スーザン | → 数残  |
| ・トム   | → 吐夢  | ・リンダ  | → 鈴打  |

さいきん にほんじん なまえ  
最近では日本人の名前にも、マリア（麻理亜）やケント（健斗）  
がいく ひと なまえ おお く  
など、外国の人たちのような名前が多くなりました。国によって、  
なまえ おお なまえ いみ たの  
どんな名前が多いか、名前にどんな意味があるのかなど、楽しい  
かいわ  
会話ができそうですね。（たむら さちこ）



# 練習しましょう

実際に申込書を書く練習をしてみましょう。

まず、住所と名前を書く練習をしましょう。

住所 \_\_\_\_\_

おなまえ \_\_\_\_\_ 様

銀行で書く申込書は、枠の中に書かなければいけないので、むずかしいかもしれません。下のサンプルに書いてみましょう。

※生年月日は和暦で書く用紙が多いです。西暦を和暦になおして書かなければいけません。わからないときは 11 ページの表を参考にしてください。

おこころ	郵便番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	電話番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	市外局番 - 市内局番 - 局番 (ハイフンは1マス使い、左詰でご記入願います。)	
	フリガナ			
おなまえ	フリガナ		生年月日	性別
	フリガナ		<input type="checkbox"/> 明治 <input type="checkbox"/> 大正 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
金額	十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円		業種	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>		
		市外局番 - 市内局番 - 局番 (ハイフンは1マス使い、左詰でご記入願います。)		
		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		

※枠の中に住所や名前を書くことはできましたか？

個人情報なので取り扱いには注意しましょう！

## 和曆西曆早見表

和曆	西曆	和曆	西曆	和曆	西曆	和曆	西曆
明治 45	1912	昭和 11	1936	昭和 37	1962	昭和 63	1988
大正 1		昭和 12	1937	昭和 38	1963	昭和 64	1989
大正 2	1913	昭和 13	1938	昭和 39	1964	平成 1	
大正 3	1914	昭和 14	1939	昭和 40	1965	平成 2	1991
大正 4	1915	昭和 15	1940	昭和 41	1966	平成 3	
大正 5	1916	昭和 16	1941	昭和 42	1967	平成 4	1993
大正 6	1917	昭和 17	1942	昭和 43	1968	平成 5	
大正 7	1918	昭和 18	1943	昭和 44	1969	平成 7	1996
大正 8	1919	昭和 19	1944	昭和 45	1970	平成 8	
大正 9	1920	昭和 20	1945	昭和 46	1971	平成 9	1998
大正 10	1921	昭和 21	1946	昭和 47	1972	平成 10	
大正 11	1922	昭和 22	1947	昭和 48	1973	平成 11	2000
大正 12	1923	昭和 23	1948	昭和 49	1974	平成 12	
大正 13	1924	昭和 24	1949	昭和 50	1975	平成 13	2002
大正 14	1925	昭和 25	1950	昭和 51	1976	平成 14	
大正 15	1926	昭和 26	1951	昭和 52	1977	平成 15	2004
昭和 1		昭和 27	1952	昭和 53	1978	平成 16	
昭和 2	1927	昭和 28	1953	昭和 54	1979	平成 17	2005
昭和 3	1928	昭和 29	1954	昭和 55	1980	平成 18	2006
昭和 4	1929	昭和 30	1955	昭和 56	1981	平成 19	2007
昭和 5	1930	昭和 31	1956	昭和 57	1982	平成 20	2008
昭和 6	1931	昭和 32	1957	昭和 58	1983	平成 21	2009
昭和 7	1932	昭和 33	1958	昭和 59	1984	平成 22	2010
昭和 8	1933	昭和 34	1959	昭和 60	1985	平成 23	2011
昭和 9	1934	昭和 35	1960	昭和 61	1986	平成 24	2012
昭和 10	1935	昭和 36	1961	昭和 62	1987	平成 25	2013



## 話しましょう

### ◇ キャッシュカードについて話しましょう

- キャッシュカードが必要なときは、どんなときか話しましょう



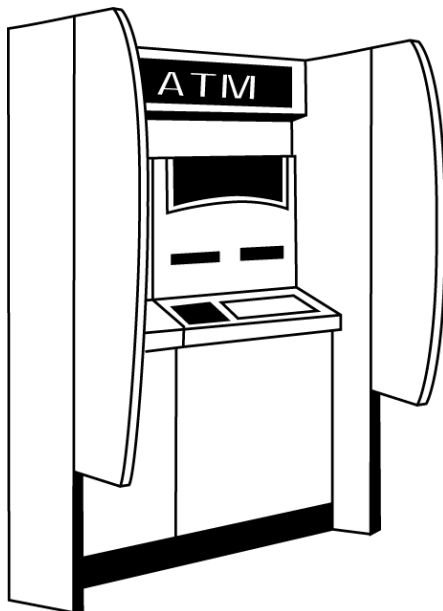
(例)

「仕事で銀行が開いている時間に行くことができない」

「近くに銀行がない」

「急にお金がいることになったけど、どこに銀行があるかわからない」

- キャッシュカードを持っていれば、便利だということを話しましょう



銀行が閉まっている時間でも、ATM（現金自動預払い機）で、お金を出したり、入れたり、振り込んだりすることができて便利です。

ATMはコンビニにもあります。

時間によっては手数料がかかります。

- キャッシュカードでお金を引き出すときに、知っておいたほうがいいことを話しましょう

引き出すお金の金額には、限度があります。

銀行によってもちがいますので、窓口で聞いておきましょう。

<例>

銀行から引き出す場合-----1 日当たり 50 万円

コンビニなどの ATM の場合----- " 20 万円

キャッシュカードには生体認証 IC カードもあります。より安全なカードです。くわしくは銀行で聞いてみてください。

◇ 口座を開いたら、注意することについて話しましょう

- 通帳を作ったら大事に保管する
- 通帳と印鑑は同じ場所に入れない
- キャッシュカードの暗証番号は人に絶対に教えない

◇ 【ネットバンキング】について話しましょう

 聞いてみましょう

ネットバンキングを知っていますか？

ネットバンキングで、直接窓口に行かなくても、24 時間インターネット上で、銀行の機能(振り込み、残高照会、口座の履歴確認など)が利用できます。

※ネットバンキングを使うには、各銀行での手続きが必要です。手順は、必要に応じて銀行に確認してください。



## ネットバンキング

最近さいきんはインターネットでいろいろなことができるようになっています。銀行ぎんこうのお金かねの振り込みふや、口座こうざの残高照会ざんだかしょうかいなどもインターネットを使つかってできますね。

このようなシステムは、「ネットバンキング」「オンラインバンキング」などと呼ばれています。

パソコンからの利用りようだけでなく、携帯電話けいたいでんわから利用りようできる「モバイルバンキング」もあります。銀行ぎんこうが閉ましまっている時間じかんでも、インターネットや携帯電話けいたいでんわがあれば振り込みふができますから大変便利たいへんべんりです。また、手数料てすうりょうも安やすくなっていることおおが多いですね。

利用りようするには手続てつづきが必要ひつようですので、インターネットから申し込もうみをするか、直接銀行ちやくせつぎんこうの窓まど口ぐちで説明せつめいを聞きいてください。

ネットバンキングは、どこでも使つかえて便利べんりですが、他の人ほかにID やパスワードを知られしないようにして、管理かんりには気きをつけましょう。パスワードはときどき変へん更こうしたほうあんぜんが安全あんぜんです。



それから、ネットバンキングは「今いますぐ、お金かねを引ひき出だしたいの！」と言いって、お金かねが目めの前まえに出でてくることはありませなから、現金げんきんが必要ひつようなときは、忘れわすずに銀行ぎんこうやATMがある場ばしよ所いに行いってくださいね。(しおやま えいこ)

## オレオレ詐欺



オレオレ詐欺とは「おれだよ、おれ。」と電話をかけ、電話に出た人がうっかり「〇〇かい？」などと名前を聞きなおすと、「そう、〇〇。じつは事故にあってお金がいるんだ。すぐにお金を振り込んで。」などと言い、指定した銀行などの口座に現金を振り込ませるやりかたから、その名前がつけました。

ニュースなどでは「振り込め詐欺」と言われます。犯人は「かぜをひいて声が変わだと思っけど…」と言ってごまかしたり、警察官や弁護士を名のるケースもあります。あわてないで、まず事実かどうか確認しましょう。「詐欺かもしれない。」と考えて、すぐにお金を振り込まないことです。

警視庁では、「そんな電話がかかったら、だまされたふりをして、電話を切ったあと、110番通報してください。すぐに警察官がかけつけ、犯人をおびき出し、つかまえます。」とよびかけています。

銀行のATMにも注意するように書かれています。

みなさんは、オレオレ詐欺にあったことはありませんか？(サリー)

## Ⅱ 銀行でできる便利なこと

### ◇ 銀行でできることについて話しましょう

- 公共料金などの自動引き落とし



公共料金（電気・ガス・水道）など、毎月支払うものを、  
どういふ方法で払っていますか？

自動引き落としにしておく、払い忘れがなく、便利です。

自動引き落としにするためには、電気・ガス・水道などそれぞれの「お客様番号」  
が必要です。

領収書などに書いてあるので、銀行に持って行って、手続きしましょう。

- 外貨両替



あなたの国のお金について教えてください

通貨単位や種類、色や大きさ、お札に使われている絵や人物はどんなものか、  
日本円とのレートや物価についても、いろいろ教えてください。

日本のお金とのちがいがたくさんあって、楽しい話ができるでしょう。

銀行についても、日本と外国ではちがいがあると思います。いろいろ聞いてみてく  
ださい。

あなたはどこで日本円の両替をしましたか？ 空港？銀行？

### ◇ 銀行で両替できることを話しましょう

銀行の窓口で、外貨へ両替ができます。

- 日本円→外貨の現金、トラベラーズチェック
- 外貨（現金、トラベラーズチェック）→日本円

◇ サンプルを参考にして、外貨両替時に必要な情報について話しましょう

必要な情報 (例) ①名前 ②住所 ③電話番号 ④その他

<外貨両替票(円貨→外貨)の見本>

お名前(漢字) FULL NAME(BLOCK LETTER)		電話番号 TEL NO.	
Mr. Mrs.		便名 FLIGHT NO.	
住所 ADDRESS OR HOTELNAME		ご希望の通貨種類・金額	現金 CASH 金額 AMOUNT
ご予算円貨額 YEN AMOUNT			<input type="checkbox"/> US\$
¥ _____			<input type="checkbox"/> その他( ) _____
			OTHER
			旅行小切手 T/C 金額 AMOUNT
			<input type="checkbox"/> US\$
			<input type="checkbox"/> その他( ) _____
			OTHER

◇ 外貨両替をするときに、注意することについて話しましょう

- 限度額があります(くわしいことは銀行で聞いてみましょう)
- 両替には手数料が必要です  
手数料は外貨の種類によって、また銀行によって、ちがいます
- 古い外貨の場合は、日本では両替を受け付けてくれない場合もあります



## かしこい振り込みのしかた

銀行の窓口で振り込むよりも、ATMでキャッシュカードを使ったほうが手数料が安くて早いです。インターネットバンキングで振り込みをすればもっと安くて便利です。

キャッシュカードがなくても、通帳だけで、入金や引き出しや振り込みができる銀行もあります。ATMで、振り込み先を登録しておく、次から振り込みをするときにかんたんで便利です。

わからないときは銀行の人に聞いてね。(シオン)



## カードをもう1枚<sup>まい</sup>

ある日、わたしの友人から、1つの口座で2枚のキャッシュカードを作<sup>つく</sup>って持<sup>も</sup>っているという話<sup>はなし</sup>を聞<sup>き</sup>いた。

「給<sup>きゅうりょう</sup>料日になると単<sup>たん</sup>身赴<sup>しんぷにん</sup>任<sup>にん</sup>している夫<sup>おっと</sup>より先<sup>さき</sup>にお金<sup>かね</sup>を引<sup>ひ</sup>き出<sup>だ</sup>すために、必<sup>ひっし</sup>死<sup>さんこう</sup>で銀<sup>はし</sup>行<sup>ぎんこう</sup>に走<sup>まへ</sup>るのよ。この前<sup>おっと</sup>は夫<sup>おっと</sup>のほう<sup>はや</sup>が早<sup>はや</sup>くて、先<sup>さき</sup>にお金<sup>かね</sup>を引<sup>ひ</sup>き出<sup>だ</sup>されてたわ。」という。

カードが2枚あると便<sup>べんり</sup>利<sup>り</sup>かも…と、銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>に行<sup>き</sup>って聞<sup>き</sup>いてみた。



わたしが行<sup>い</sup>った銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>では3枚<sup>まい</sup>までつ<sup>つく</sup>るこ<sup>こ</sup>とがで<sup>い</sup>できると言<sup>い</sup>われた。

しかも、銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>口座<sup>こうざ</sup>をつ<sup>つく</sup>った人<sup>ひと</sup>（通<sup>つう</sup>帳<sup>ちやう</sup>の<sup>めいぎにん</sup>名<sup>み</sup>義<sup>ぎ</sup>人<sup>ひと</sup>）が認<sup>かぞく</sup>めた人<sup>ひと</sup>なら、家<sup>かぞく</sup>族<sup>ぞく</sup>でな<sup>か</sup>くても、ど<sup>かんけい</sup>んな関<sup>かんけい</sup>係<sup>けい</sup>であ<sup>ら</sup>うと、未<sup>み</sup>成<sup>せい</sup>年<sup>ねん</sup>でもい<sup>とくべつ</sup>いし、特<sup>しやうめい</sup>別<sup>べつ</sup>な証<sup>しやうめい</sup>明<sup>めい</sup>や書<sup>しよるい</sup>類<sup>るい</sup>はい<sup>ら</sup>ないそ<sup>う</sup>だ。

カードの暗<sup>あん</sup>証<sup>しやう</sup>番<sup>ばん</sup>号<sup>ごう</sup>は、同<sup>おな</sup>じでも、ち<sup>ち</sup>が<sup>が</sup>つても、ど<sup>ど</sup>ちらでもい<sup>い</sup>い<sup>い</sup>けど、印<sup>いん</sup>鑑<sup>かん</sup>は通<sup>つう</sup>帳<sup>ちやう</sup>の持<sup>も</sup>ち主<sup>ぬし</sup>本<sup>ほん</sup>人<sup>にん</sup>のものでな<sup>な</sup>ければなら<sup>ら</sup>ない。

外<sup>がい</sup>国<sup>こく</sup>籍<sup>せき</sup>の人の<sup>ひと</sup>場<sup>ば</sup>合<sup>あい</sup>は、日<sup>に</sup>本<sup>ほん</sup>へ来<sup>き</sup>て6か<sup>げつ</sup>月<sup>じやう</sup>以<sup>じやう</sup>上<sup>じやう</sup>でな<sup>な</sup>いとつ<sup>つく</sup>るこ<sup>こ</sup>とがで<sup>で</sup>き<sup>き</sup>ないそ<sup>う</sup>だ。そ<sup>そ</sup>の<sup>の</sup>上<sup>うへ</sup>、日<sup>に</sup>本<sup>ほん</sup>で働<sup>はたら</sup>いてい<sup>い</sup>ること<sup>こと</sup>など、条<sup>じやう</sup>件<sup>けん</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>り、銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>が認<sup>みと</sup>めた<sup>ばあい</sup>場<sup>ばあい</sup>合<sup>あい</sup>だ<sup>だ</sup>けだ。留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>生<sup>せい</sup>はつ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>るこ<sup>こ</sup>とはで<sup>で</sup>き<sup>き</sup>ない<sup>い</sup>とい<sup>い</sup>うこ<sup>こ</sup>とだ<sup>だ</sup>った。銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>によ<sup>よ</sup>つて<sup>て</sup>ち<sup>ち</sup>が<sup>が</sup>う<sup>う</sup>ので、そ<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>れの<sup>の</sup>銀<sup>ぎんこう</sup>行<sup>い</sup>で聞<sup>き</sup>いて<sup>て</sup>み<sup>み</sup>な<sup>な</sup>け<sup>け</sup>れば<sup>ば</sup>い<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ない。

離<sup>はな</sup>れて暮<sup>く</sup>らす家<sup>かぞく</sup>族<sup>ぞく</sup>だ<sup>だ</sup>けで<sup>で</sup>なく、会<sup>かい</sup>社<sup>しゃ</sup>やサ<sup>さ</sup>ー<sup>さ</sup>クル<sup>くる</sup>で、1つ<sup>こうざ</sup>の<sup>の</sup>口<sup>こう</sup>座<sup>ざ</sup>を<sup>を</sup>復<sup>ふく</sup>数<sup>すう</sup>の<sup>の</sup>人<sup>ひと</sup>が管<sup>かん</sup>理<sup>り</sup>する<sup>する</sup>場<sup>ばあい</sup>合<sup>あい</sup>にも便<sup>べんり</sup>利<sup>り</sup>だ<sup>だ</sup>け<sup>け</sup>ど、わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>し<sup>し</sup>の<sup>の</sup>友<sup>ゆう</sup>人<sup>じん</sup>の<sup>の</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>に、夫<sup>ふう</sup>婦<sup>ふ</sup>で引<sup>ひ</sup>き出<sup>だ</sup>し競<sup>きやう</sup>争<sup>そう</sup>にな<sup>な</sup>つたり、復<sup>ふく</sup>数<sup>すう</sup>の<sup>の</sup>人<sup>ひと</sup>が持<sup>も</sup>つこ<sup>こ</sup>とで問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>にな<sup>な</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>い</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>に気<sup>き</sup>をつ<sup>つ</sup>け<sup>け</sup>な<sup>な</sup>け<sup>け</sup>れば<sup>ば</sup>い<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ない。と<sup>と</sup>り<sup>り</sup>あ<sup>あ</sup>え<sup>え</sup>ず、わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>し<sup>し</sup>は<sup>は</sup>娘<sup>むすめ</sup>には<sup>ぜ</sup>っ<sup>たい</sup>に<sup>も</sup>持<sup>も</sup>た<sup>た</sup>す<sup>す</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>と決<sup>き</sup>め<sup>め</sup>た。(や<sup>や</sup>ま<sup>ま</sup>も<sup>も</sup>と<sup>と</sup>ち<sup>ち</sup>ほ)



## にほん ぎんこう あんぜん 日本の銀行は安全？

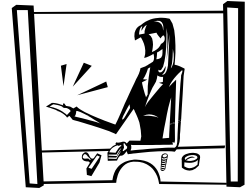
にほん ぎんこう あんぜん い はんのう  
「日本の銀行は安全よね。」と言ったら、こんな反応があった。

にほん ぎんこう あんぜん よるおそ ひら  
「日本の銀行は安全じゃないよ。だって、ATMが夜遅くまで開い  
ていて、だれもいないでしょ。すごくあぶないよ。わたしの国には、  
ATMのところにけいさつかん ふたり  
警察官が2人いるよ。」

「そうそう、わたしが行った国では、けいび ひと じゅう も た  
てて、びっくりしたわ。」

なるほど。そう言われれば、けいさつかん あんぜん い  
警察官がいるほうが安全だと言える  
のかもしれない。

「それに、かいがい ぎんこう まどぐち  
海外の銀行の窓口には、しきりがある  
でしょ。ぎんこう ひと どうめい  
銀行の人とは、その透明のしきりをはさん  
で話をし、かね て はい こまど  
して、お金のやりとりは手が入らないくらいの小窓です。  
日本にはないよね。」「それは、にほん あんぜん  
日本が安全だからかな。」



かいがい まどぐち どうめい ぼうはん ぼうだん  
海外の窓口にある透明のしきりは、防犯のため。防弾ガラスの  
ところもあるらしい。にほん おな くに  
日本と同じように、しきりのない国もある。

「ある国のカウンターはすごくたか  
高く、それぞれのまどぐち あし  
窓口には足が  
とど 届かないくらい高いすがあったよ。バーのと ぎ  
止まり木みたいな。」

「へえー。にほん ま あいだ  
日本には待ってる間 すわるいすはあるけど、まどぐち  
窓口には  
はないわ。なん のためにいすがあるの？と ところ、と ぎ なに  
止まり木って何？」  
あんぜん はな はなし  
安全かどうか話しているうちに、どんどん話がひろがった。

くに ちが  
国によってちがうことがたくさんある。ひと かん  
人によって感じかたが違  
う。きょう ひと あたら し きょうかしょ べんきょう  
今日もまた一つ、新しいことを知った。教科書を勉強する  
より、い ちしき まな ちいき きょうしつ たの  
活きた知識を学ぶ地域のボランティア教室は楽しい。

(きし はるよ)